農業生産3500億円目標　十勝ビジョン2021

2017年4月6日

管内の農協でつくる「ＪＡネットワーク十勝」（有塚利宣本部長）と十勝農協連（山本勝博会長）は、この先５年間の十勝農業の指針となる「十勝農業ビジョン2021」を策定した。農業生産額は2021年に3500億円を達成する目標を設定。畑作、酪農・畜産でさらに生産力向上を図り、過去最高だった15年の3233億円（ＪＡ取扱高）を上回る意欲的な目標を掲げた。

十勝農業ビジョンの農業生産額目標

種類		2021年目標（万円）	2016年目標比(%)
耕種	小麦	456億4200	11▲
	豆類	264億1800	45▲
	ビート	300億6700	5▲
	ジャガイモ	265億7600	9▼
	野菜類	261億6900	14▲
	その他	2億9300	51▼
	計	1551億6500	10▲
酪農畜産	生乳	1094億2500	21▲
	乳用牛	183億7200	39▲
	肉用牛	686億6000	61▲
	その他畜種・牧草	34億0300	10▼
	計	1998億6000	33▲
合計		3550億2500	22▲

酪農・畜産33%増見込む

農業生産額はＪＡが取り扱う農畜産物の販売支払高に、経営所得安定対策など政策支援額を加えて算定。管内の全24ＪＡへの作付面積や家畜頭数の増減の見込み、組合員アンケートの結果などを基に、作物ごとの生産額の目標を積み上げた。

3500億円の目標は、前回ビジョンの2900億円（16年目標）から２割増。耕種（畑作）が1551億6500万円で前回比10％増。小麦、大豆を中心とした豆類、ビートで生産量の増加を見込む。

酪農・畜産は1998億6000万円で同33％増の高い伸びを目標にした。生乳生産は自給飼料の確保や労働力確保、畜産物ではブランド力向上などの課題に取り組むことで達成を目指す。

16年の管内のＪＡ取扱高は、畑作が天候不順や台風で落ち込んだが、好調だった酪農・畜産がカバーして2923億円（概算値）と過去２番目の水準だった。15年の3233億円に続いて２年連続で、前回ビジョンの目標値を達成している。

農畜産物の生産額では、農林水産省がまとめる農業産出額があり、単純比較はできないが、3500億円は宮崎県の3424億円（15年）と同程度。都道府県別では５番目に相当する。

十勝農協連では同時に、目標達成に向けて重点課題や取り組みをまとめた第８次中期計画（17～21年度）を策定。山本会長は「各分野で積み上げた3500億円の目標に向け、十勝一丸となって努力したい」としている。

５カ年の中期計画を策定　十勝農協連臨時総会

2017年4月6日

あいさつする山本会長

十勝農協連（山本勝博会長）の臨時総会が６日午前１１時から、帯広市内の農協連ビルで開かれた。農業生産額3500億円達成に向けた第８次中期計画（2017～21年度）や今年度の事業計画を決めた。

中期計画は、同農協連などが設定した「十勝農業ビジョン2021」の農業生産額の目標達成に向け、部門別の重点課題や推進事業などで構成している。農産部関係では強固な生産基盤の確立で安定的、高品質な農作物の生産支援体制を整える。畜産部では国際的にも最高水準の生産性や品質の確保、人材育成に取り組むことなどが盛り込まれた。

他には十勝地域組合員総合支援システムの構築やＩＣＴ（情報通信技術）利用による生産管理の高度化、ブランド化による高付加価値化と販売力向上に取り組む。税引き後の当期剰余金は9436万円を見込む。

総会には会員の全24ＪＡが出席。山本組合長はあいさつで「組合員が安全安心でおいしい農畜産物の安定供給と、管理の高度化で所得向上ができるように生産基盤の確立や生産力、販売力向上に取り組みたい」と述べた。